

主 な ト ピ ッ ク ス

「えひめ eco フェスタ 2016～さあ、始めよう！ COOL CHOICE～」の開催

広く県民に地球温暖化対策の必要性・重要性を認識してもらうとともに、省エネ・節電意識の向上を図るため、地球温暖化防止普及啓発イベントを開催しました。

東温高校書道部のみなさんによる地球温暖化防止をテーマにした書道パフォーマンスやエコ・マジックショー、「地球にEcoしよ！」ステージショーなどの各種パフォーマンスのほか、地球温暖化に関するパネル展示クイズラリー、専門家による省エネの提案やアドバイスを行う「うちエコ診断」の実施、次世代自動車の展示など、子どもから大人まで楽しく環境を学んでもらうイベントに、延べ約3千人と多数が来場、県民総ぐるみで温暖化対策に取り組む意識の強化を図りました。



【えひめ eco フェスタ 2016 ちらし】



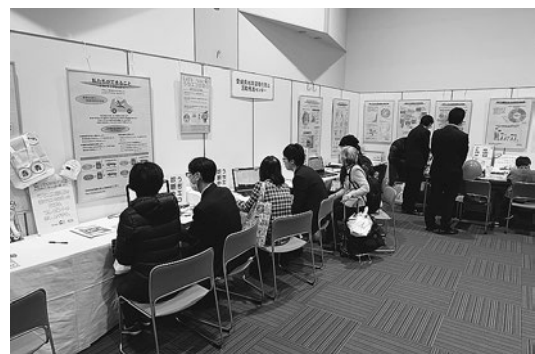
【東温高校書道部による書道パフォーマンス】

うちエコ診断の実施

家庭の省エネ専門家「うちエコ診断士」が、各家庭の地域や住まい、ライフスタイルに合わせて、無理なくできるオーダーメイドの省エネ・省CO2対策を無料で提案する「うちエコ診断」制度の運用を開始しました。

専用ソフトを用いて診断するので、診断結果がその場ですぐ見え、どこにどれだけエネルギーを使っている、どれくらい光熱費を節約できるのかも一目でわかります。

家庭の省エネ対策やライフスタイルの見直しにつながる「うちエコ診断」で、家庭からのCO2削減を図ります。



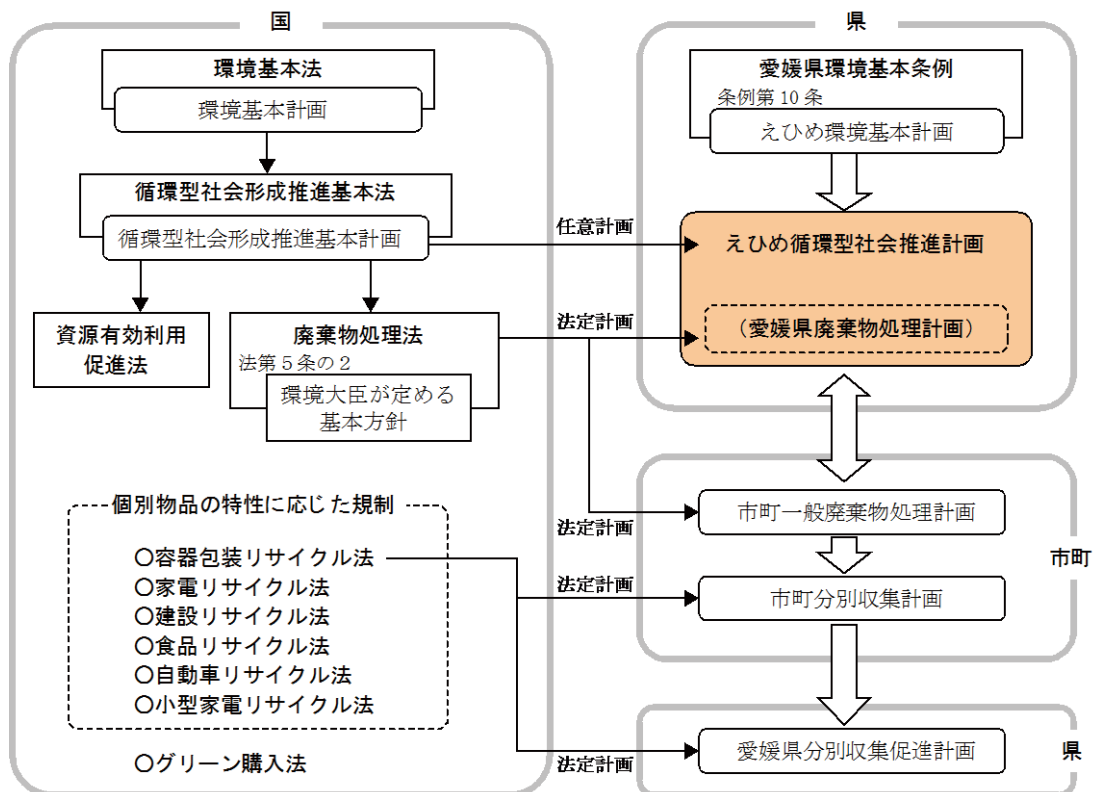
【うちエコ診断の実施】

第四次えひめ循環型社会推進計画の策定

愛媛県では、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減する「循環型社会」の構築に向けて、平成 24 年 3 月に策定した「第三次えひめ循環型社会推進計画」の計画期間が終了したことを踏まえ、これまでの取組みをさらに進めるため、平成 29 年 3 月に「第四次えひめ循環型社会推進計画」を策定した。

第四次計画では、「3Rの推進」「廃棄物の適正処理」「循環型社会ビジネスの振興」「災害廃棄物処理体制の構築」を4つの基本方針として、総合的かつ計画的に廃棄物の減量化とリサイクルや適正処理の推進を図ることとし、目標年度である平成 32 年度に一般廃棄物排出量を平成 27 年度実績値から 11% 削減した 42.1 万 t、産業廃棄物排出量を平成 26 年度実績から 1% 削減した 745 万 t とする目標値やリサイクル率、最終処分量の削減目標なども設定している。

また、新たな重要施策としてリサイクルと比べて取組みが遅れているリデュース・リユースの取組強化のため「食品ロスの削減」のほか、「海岸漂着物等の適正処理」、「土砂等の埋立ての適正化推進」などを盛り込んでいる。



災害廃棄物対策フォーラムの開催について

近い将来、発生が想定される南海トラフ大地震といった大規模災害時には、建物倒壊等による災害廃棄物が一時的かつ大量に発生し、早期復旧・復興の大きな阻害要因となることが懸念されている。

このため、県では、東日本大震災等の経験を踏まえて国が策定した「災害廃棄物対策指針（H26.3）」に基づき、「県地域防災計画」や「県地震被害想定調査」を踏まえ、学識経験者等で組織する「県災害廃棄物処理計画実務専門者会議」を設置し、その意見・助言を得て、パブリックコメントを行った上で、県災害廃棄物処理計画を策定し、平成28年4月に公表した。

県計画の策定を契機に、県民、市町担当者及び民間事業者等に対し、災害廃棄物対策の重要性及び事前の備えとしての廃棄物処理計画策定の必要性を周知することにより市町の計画策定を促進するとともに、関係団体との協力体制の強化を図るため、平成28年9月6日に「愛媛県災害廃棄物対策フォーラム」を開催した。

フォーラムには202名が参加し、環境省廃棄物対策課災害廃棄物対策室担当職員による基調講演、東日本大震災の被災自治体である宮城県担当職員による災害廃棄物処理の事例発表、県計画の概要説明のほか、災害廃棄物処理に関するパネルディスカッションを行った。

この結果、平成29年2月15日に開催された「県・市町連携推進会議」において平成30年度までに、県内全市町において、市町災害廃棄物処理計画を策定することが合意された。



【県災害廃棄物対策フォーラム】



【パネル展示】

海岸漂着物対策推進地域計画の改定について

本県の海岸総延長は、全国第5位の約1,700 kmにおよび、沿岸14市町において全国有数の漁港・港湾数を有しており、海岸は県民にとって身近な存在であり、地域社会や漁業・観光等の産業の振興を支えてきたかけがえのない財産である。


そこで、県では、平成24年1月、海岸漂着物処理推進法に基づき「愛媛県海岸漂着物対策推進地域計画」を策定し、海岸漂着物対策を総合的かつ計画的に推進してきたが、計画策定から5年が経過し、海岸地域の状況の変化、海岸漂着物の回収・処理事業の実施状況、現行の重点地域の拡大を求める声が上がってきたことなどから、現地調査やアンケート調査等を踏まえ、平成29年2月に計画の改定を行った。

改定計画では、「人々に潤いと憩いを与える愛媛の美しい海をみんなで守る」を基本理念とし、海岸漂着物対策に積極的に取り組むため、重点区域を全海岸に拡大するとともに、海岸漂着物に加え、漂流ごみ・海底ごみの回収・処理や、新たな環境汚染が懸念される「マイクロプラスチック」への対応を追加したほか、海岸漂着物の発生抑制対策として、環境教育・環境学習の充実や、河川・海岸等への不法投棄防止対策を強化している。

県では、今後とも、改定計画に基づく施策を着実に実践し、将来にわたり、海洋環境の保全と海岸の優れた景観の維持・保全を進めていくことにしている。

愛媛県海岸漂着物対策推進地域計画

【改定の概要】



平成24年1月
(平成29年2月改定)

愛 媛 県



愛媛県海岸漂着物対策推進協議会
(計画改定について審議)

環境啓発親子登山 in 石鎚山

石鎚山の豊かな自然を守り適正な利用を確保するため、石鎚山クリーンアップ協議会を中心に、山のトイレマナーやゴミの持ち帰り等、山のマナーを啓発もする清掃登山を開催し、利用者の環境意識の向上を図っています。

平成 28 年度は国民の祝日「山の日」が施行されたことを機に、次世代を担う子供たちをターゲットとしたガイド付き環境啓発登山を実施し、若い世代に石鎚山系への関心や自然環境保全の意識啓発を行いました。

日 時 平成 28 年 8 月 11 日 (祝)

場 所 石鎚山 (成就ルート及び土小屋ルート)

参加者 約 150 名



【山頂 (弥山) にて】



【登山の様子】

石鎚山系エコツーリズム推進全体構想の認定

県では愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会を設置し、石鎚山系を中心とした地域において、自然・歴史・文化など地域固有の資源を生かした観光のあり方であるエコツーリズムの普及に取り組んでいるところです。

エコツーリズム推進法に規定される、エコツーリズムを適切かつ効果的に推進するための基本的枠組みを定めた全体構想を作成し、平成 29 年 2 月に同構想が主務大臣の認定を受けました。

これにより、同地域におけるエコツーリズムの更なる推進が図られ、自然環境の適正な利活用と自然保護意識啓発に資することが期待されます。



【認定書授与式】



【取組紹介】